

市民の命と健康をまもる市立病院の充実を

病院事業のあり方検討委員会では、Aは現状維持、Bは統合、B'は新病院を海浜と同じ300床で出発し、2030年以降に機能分担を図り、新病院に救急医療など急性期機能を集約、青葉は医療機能を縮小するという3パターンが示されました。

私たちは、海浜病院も青葉病院もそれぞれ市立のまま存続・充実することが必要と考えます。



パターン	病院	2020年代半ば	2030年以降
A	青葉病院	320床	現状維持
	新病院	293床	
B	新病院	統合 560～ 640程度	
B'	青葉病院	300床程度	⇒200床未満
	新病院	300床程度	⇒440～ 510床程度



あぐい 初美
(稲毛区)



一般質問動画はこちら

子どもの安全を第一に、成長と発達に必要な保育環境の整備を



横断歩道付近のポールとガードパイプ

庭に遊具がない保育園

大津市や市原市でおこった保育園の散歩時の車による事故を受けて、市の保育園の園外保育の実態調査や園外保育時の職員配置の増員、小学校の校庭利用、ポールやガードパイプなどの安全対策などを行うよう求めました。

市は、「巡回指導員による園外保育の安全指導をおこなう」ことや、「こども未来局、建設局、都市局が連携して子どもの安全対策をおこなっていく」と回答しました。

住民の声をもとに緑町のまちづくりを

(株)ZOZOと千葉市、千葉大で包括的連携協定が締結され、西千葉エリアで新たな価値を生み出すとしてZOZOの新社屋建設が始まっています。



緑町のZOZO新社屋建設現場

市に街づくりは住民の意見を聞くこと、買い物難民になっている地域住民がスーパー誘致を望む声があることをZOZOに伝えるよう求めたのに対し、市は「協定に基づき住民の要望を伝えるとともに、千葉大や小中学校とも連携・協働を図っていく」と答えました。

小仲台5丁目仲よし公園の安全対策を



小仲台5丁目仲よし公園現地調査

地域の方から小仲台5丁目「仲よし公園」で、車道にとびだしたボールを追いかけて4車線道路を越えていく子どもの姿を何度も見かけており、大変危険なので安全対策をしてほしいと要望が寄せられました。

中央・稲毛公園緑地事務所と現地調査を実施し、公園の出入り口付近に大型の可動式プランターを設置する案を検討しました。地域住民の方の意見を伺い、引き続き実現に向け運動していきます。

編集後記

今議会で、(旧)「市民参加及び協働に関する条例」から(新)「市民自治によるまちづくり条例」への改定が決まりました。旧条例では、行政が主体となる部分が多かったので、「今後は市民主体の活動を促進する」そうです▼そのために「市民が地域や市政に関心を持ち地域や社会の「課題」に気付き、参加し、活動することを」求めています。これを世間では「住民自治」と言うのではないのでしょうか▼あえて「市民自治」と言い換えるのは、「市民自治」には住民だけでなく企業や団体も入るからなのでしょう▼重要なまちづくりに住民の願いや要望が反映されるよう、「住民自治が地方自治の本旨」とする地方自治法の立場でのチェックが必要です。(K)

ご意見・ご要望は お気軽にどうぞ

 美浜区事務所 (241) 1072	 かばさわ 洋平 市議会議員 (緑区) (292) 7764	 野本 信正 市議会議員 (若葉区) (237) 9068	 あぐい 初美 市議会議員 (稲毛区) (256) 5897	 もりた 真弓 市議会議員 (花見川区) (250) 9609	 中村 きみえ 市議会議員 (花見川区) (275) 2470	 ふくなが 洋 市議会議員 (中央区) (263) 4334
---------------------------------	--	---	--	---	---	--